

『本能寺の変』を調査する

京都市埋蔵文化財研究所 山本 雅和

はじめに

天正 10 年 (1582) 6 月 2 日早朝、明智光秀が本能寺に滞在していた織田信長を急襲し、自刃に追い込んだ「本能寺の変」は、日本史上最も有名な事件のひとつです。研究者や小説家・信長ファンによる本能寺の変をめぐる論説は数え切れません。

その一方で、遺跡としての本能寺のようすはほとんどわかっていませんでした。しかしながら、2007 年夏から冬にかけて 3 回にわたって本能寺跡の発掘調査を行なうことができました。今回は遺跡の調査成果から「本能寺の変」に迫ってみましょう。

本能寺の変遷

応永 22 年 (1415) 頃 妙本寺 (現在の妙顕寺) の僧侶：日隆が油小路高辻と五条坊門 (仏光寺通) との間に建立。当時は本応寺と号する。

(「内野」に移転)

永享 5 年 (1433) 「左京四条一坊十五町」：北を六角・東を大宮・南を四条坊門 (蛸薬師通) ・西を櫛笥に囲まれた場所へ移転。本能寺と号する。

天文 5 年 (1536) 頃 天文法華の乱により焼失 堺へ移転

天文 14 年 (1545) 頃 帰洛。「左京四条二坊十五町」：北を六角・東を西洞院・南を四条坊門 (蛸薬師通) ・西を油小路に囲まれた場所へ移転。

天正 10 年 (1582) 本能寺の変。

天正 19 年 (1591) 豊臣秀吉の命令により、寺町御池 (現在の場所) へ移転。

発掘調査事例

①本能寺の東部中央 西洞院大路に面した位置

西洞院川を埋め立てた整地層 (16 世紀中葉)

北から西へ L 字形に折れ曲がる堀 (16 世紀後葉に埋まる) ・堀の南北部分西側に石垣

→内部を区画する堀

堀の埋土から輪宝を額に戴いた鬼面や龍を表現した鬼瓦・「𦵏」の銘の軒丸瓦や赤く変色した瓦が出土 (16 世紀後葉)

題目や光明真言を記した卒塔婆・琥珀製の掛軸の軸端が出土

②本能寺の中央部北西寄り

東西方向に並ぶ 3 基の礎石据え付け穴・南北方向の溝 (16 世紀中葉～後葉)

→建物跡の一部 (北西隅部) と推定

「𦵏」の銘の軒丸瓦や赤く変色した瓦・焼けた壁土・土器が出土 (16 世紀後葉)

整地層・土取穴 (16 世紀末頃)

③本能寺の南東隅

西洞院川を埋め立てた整地層 (16 世紀中葉)

四条坊門小路北側で幅 2 m 以上・深さ 1 m 以上の堀 (16 世紀末頃に埋まる)

→本能寺の南堀

本能寺の復原に向けて

①検出遺構からの内部構造の検討

②出土遺物からの遺構変遷の検討

まとめ

発掘調査からわかったことをまとめると次のようになります。

① 16 世紀中葉に西洞院川が付け替えられ、整地が行なわれました。

②本能寺の周囲は堀で囲まれ、内部も堀によって区画されており、一部には石垣を積み上げていました。

③境内の中央部には礎石をそなえた建物がありました。

④瓦葺きの建物があり、火災で焼失しました。

⑤これらの遺構は 16 世紀末には埋められて整地が行われました。

このように、文献の記録が裏付けられた一方、境内が複雑な構造であり、建物の配置など未解決の問題も多くのかさかしています。「本能寺の変」の検証はまだまだこれからです。

引用・参考文献

・『洛中絵図 寛永後万治前』臨川書店 1979 年

・『洛中洛外図大観』(上杉家本) 小学館 1987 年

・高橋康夫『洛中洛外』平凡社 1988 年

・藤井学『本能寺と信長』思文閣出版 2003 年

・山本雅和「京都の戦国時代」『戦国時代の考古学』高志書院 2003 年

・『本能寺跡発掘調査報告 平安京左京四条二坊十五町』関西文化財調査会 2008 年

・「平安京左京四条二坊十五町跡・本能寺城跡」『京都市内遺跡発掘調査報告 平成 19 年度』京都市文化市民局 2008 年

・『京都市埋蔵文化財研究所発掘調査報告 2007-11 平安京左京四条二坊十五町跡・本能寺城跡』(財)京都市埋蔵文化財研究所 2008 年

・「『本能寺の変』を調査する」『リーフレット京都』No.231 (財)京都市埋蔵文化財研究所・京都市考古資料館 2008 年

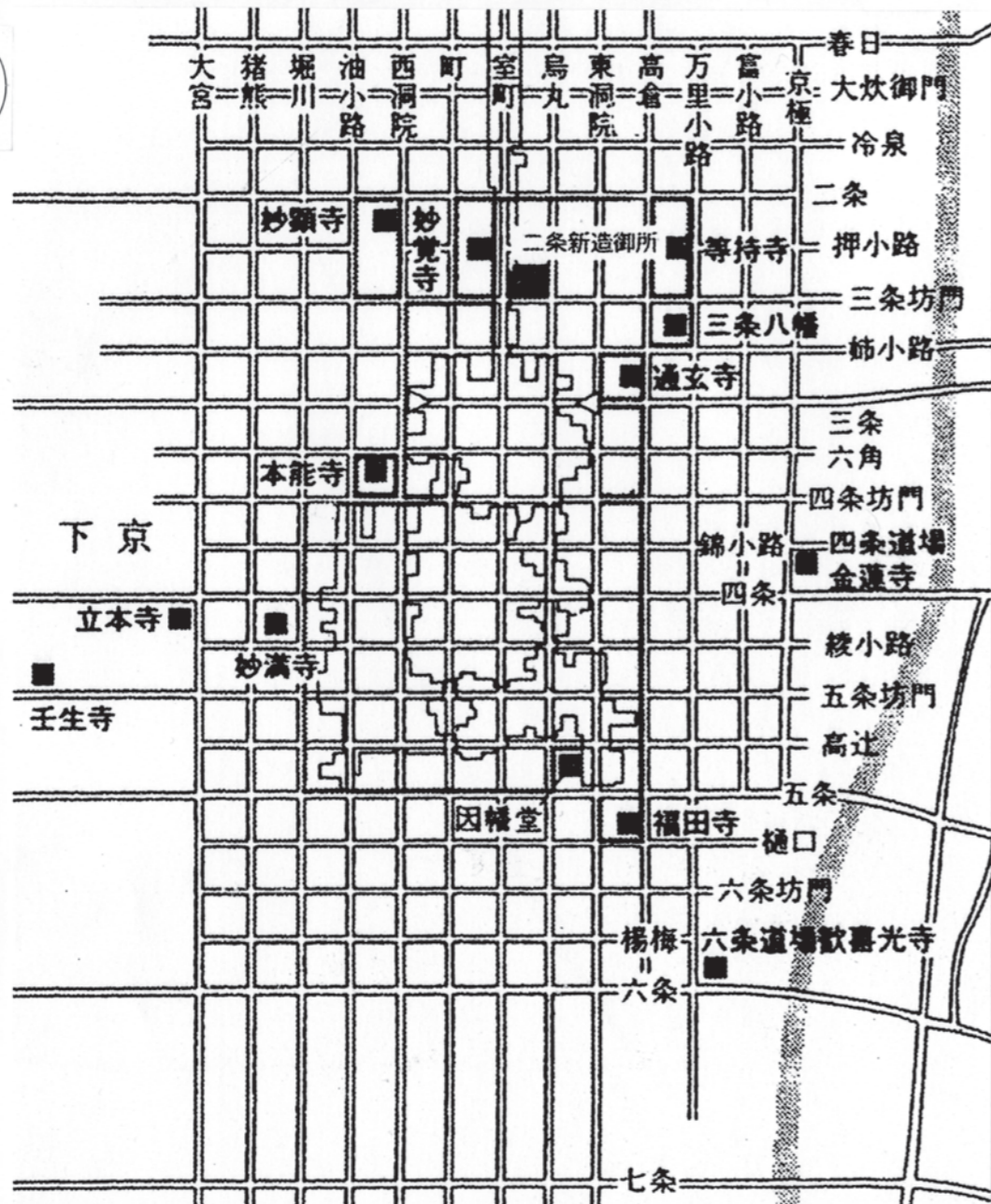


図1 戦国時代の京都(『洛中洛外』を調整)

①の調査

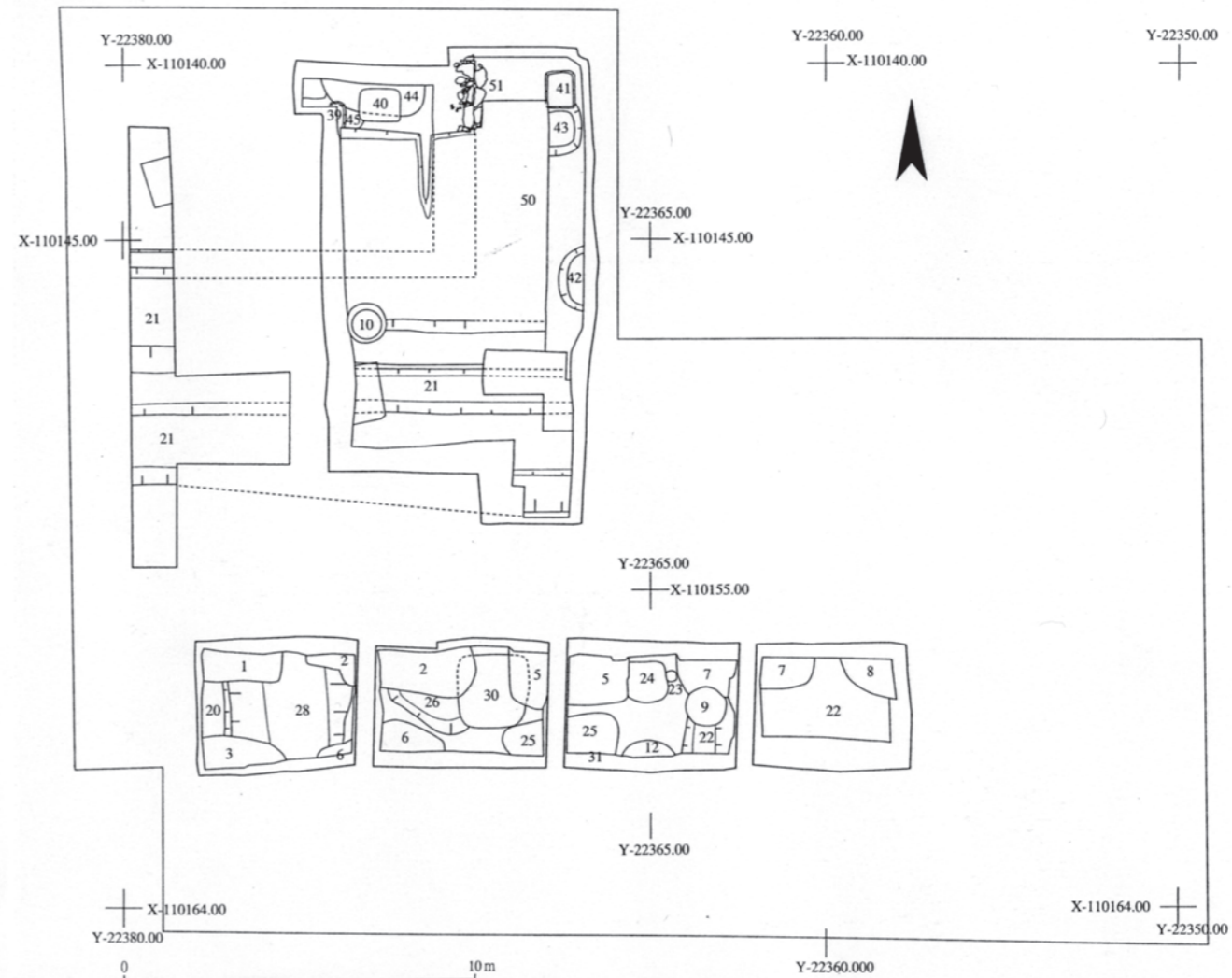


図3 遺構平面図

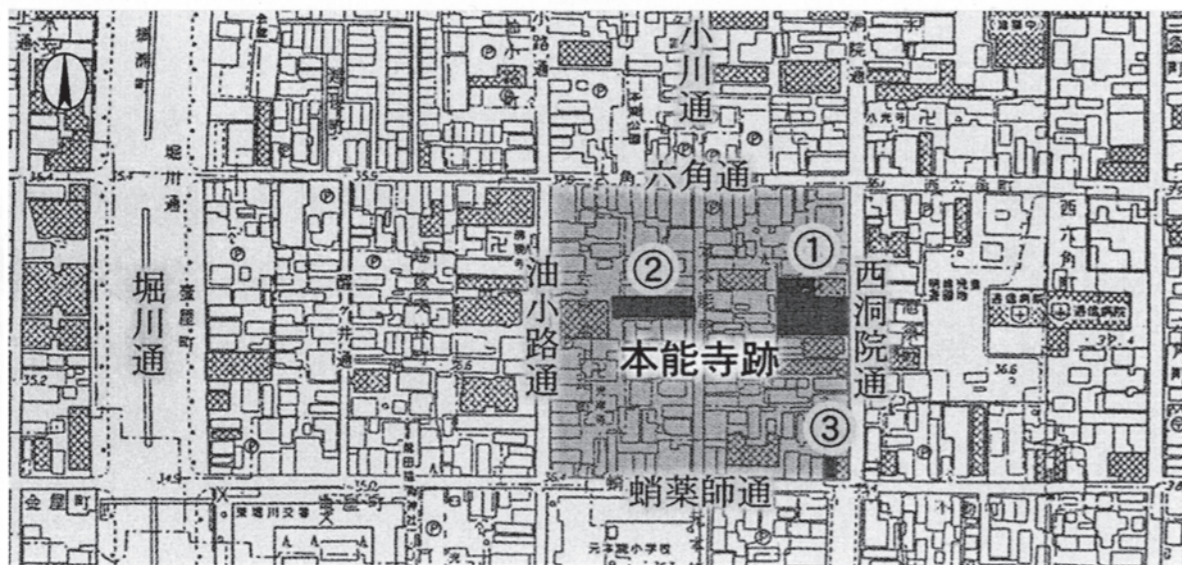
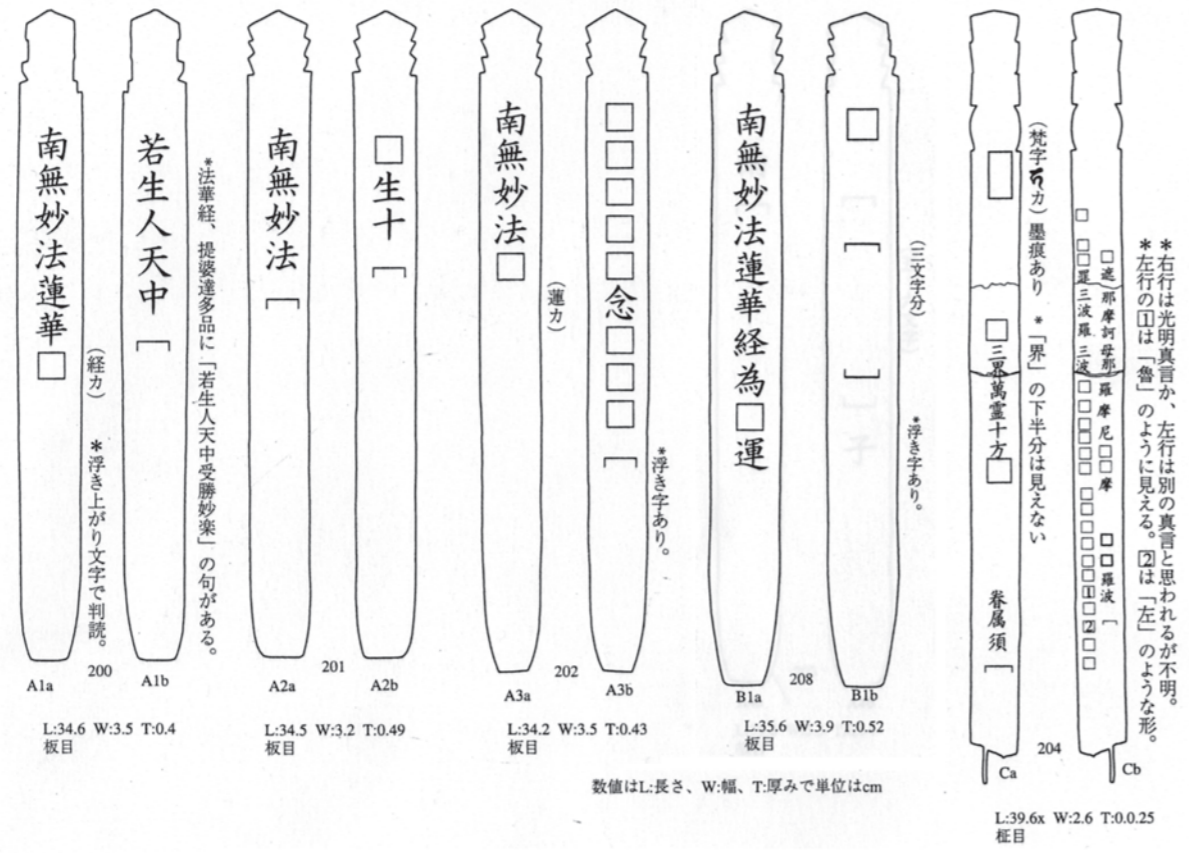


図2 本能寺の発掘調査位置(①~③)



図4 石垣写真



②の調査

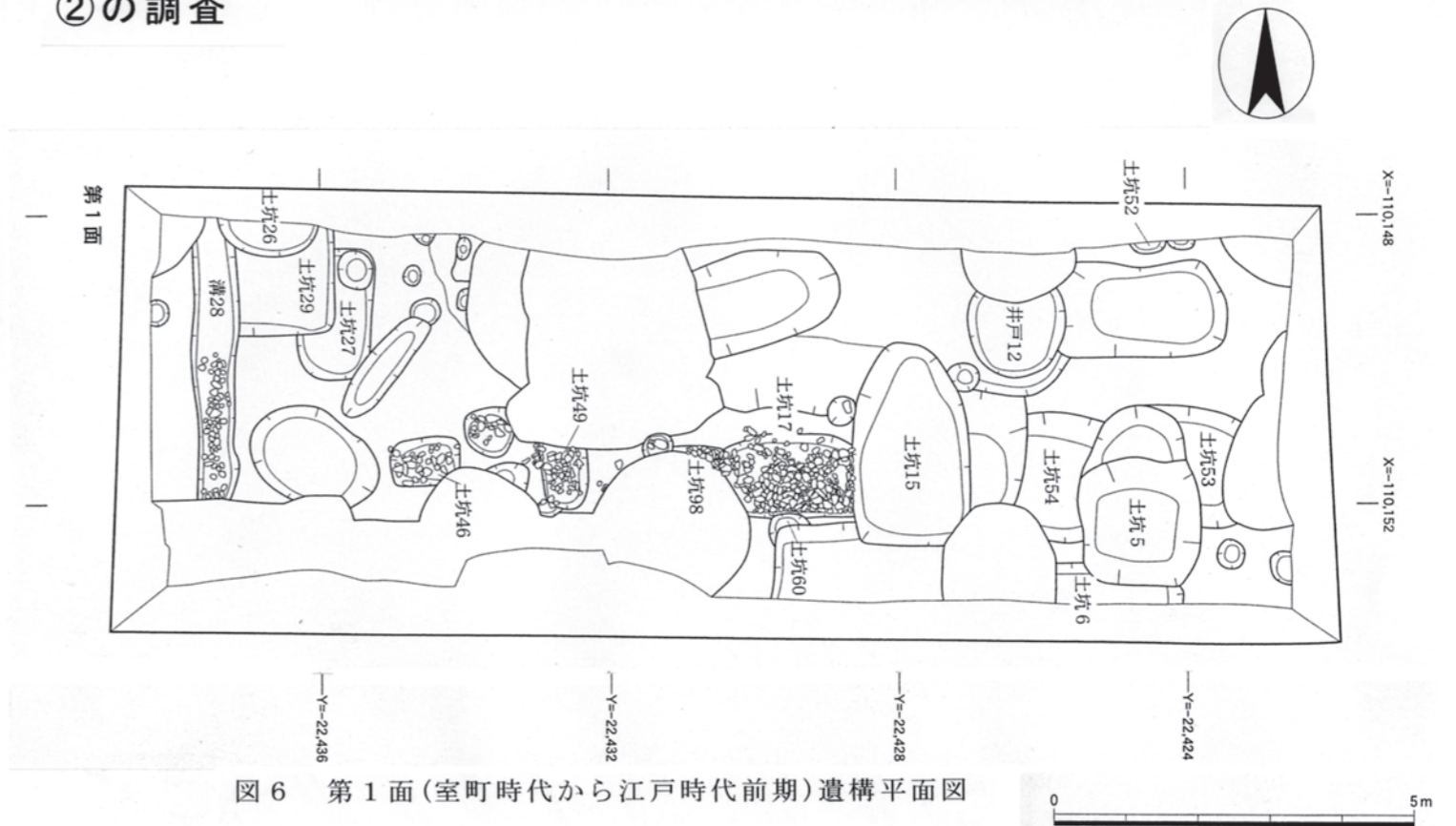


図6 第1面(室町時代から江戸時代前期)遺構平面図

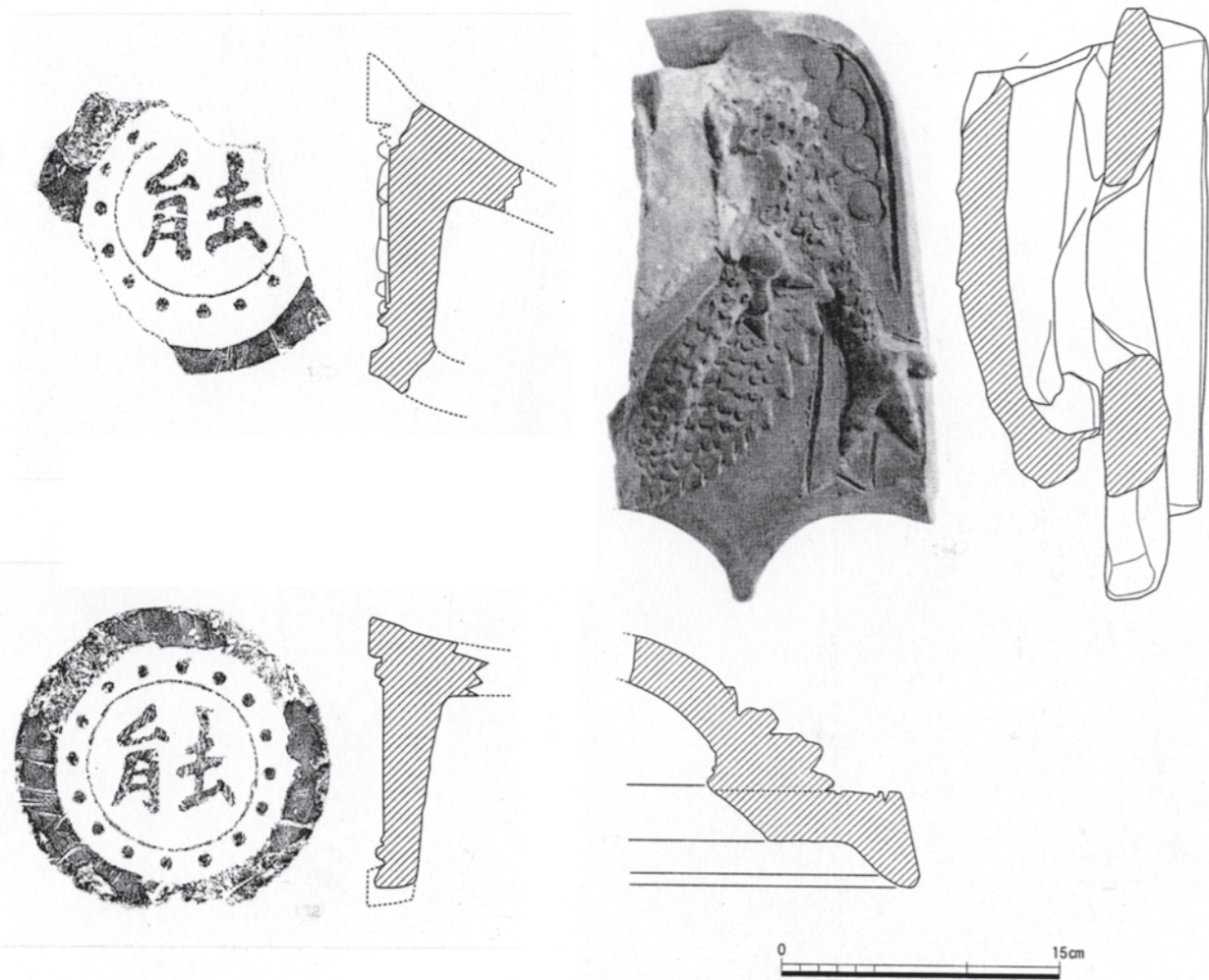


図5 出土遺物実測図

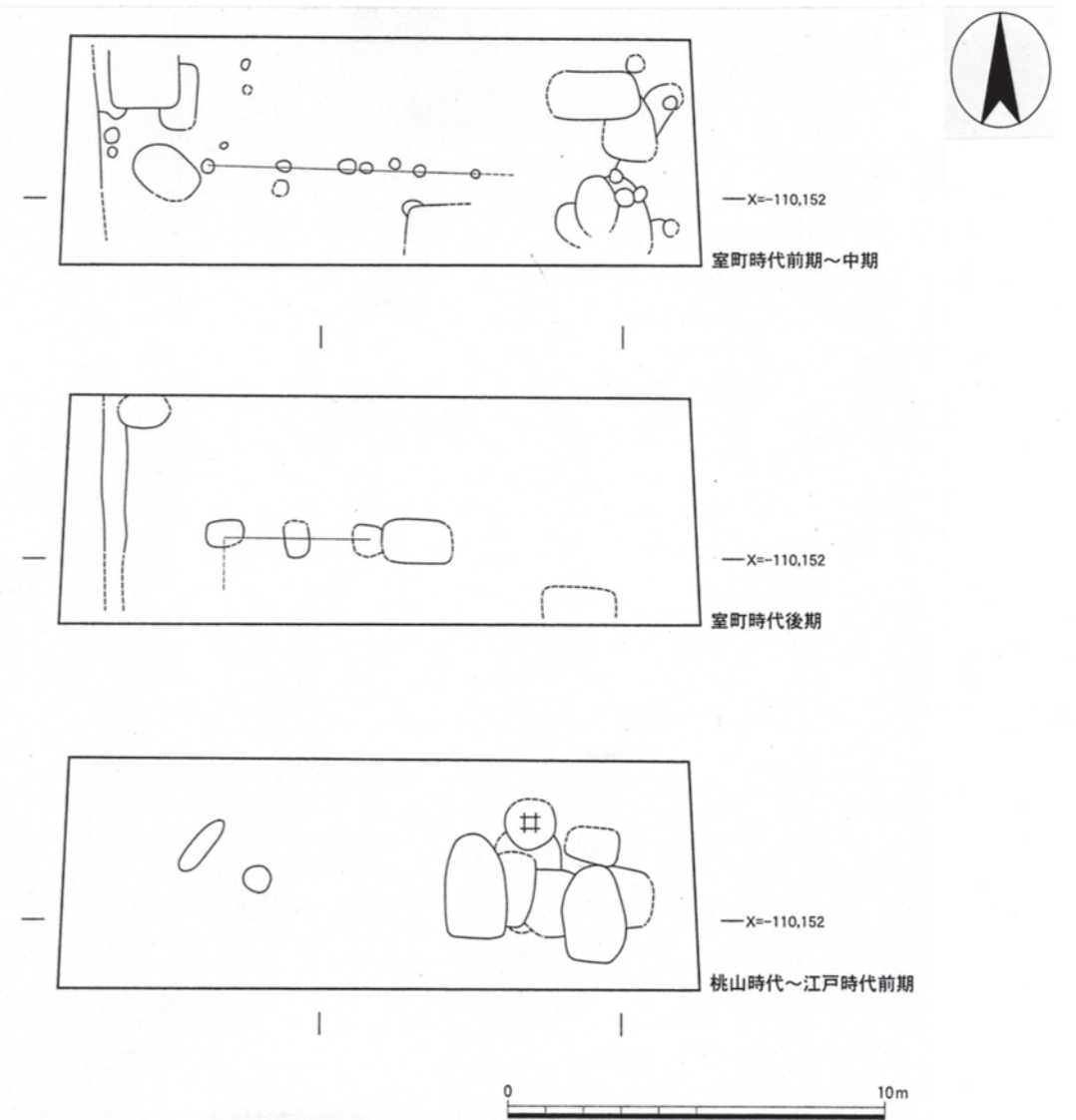
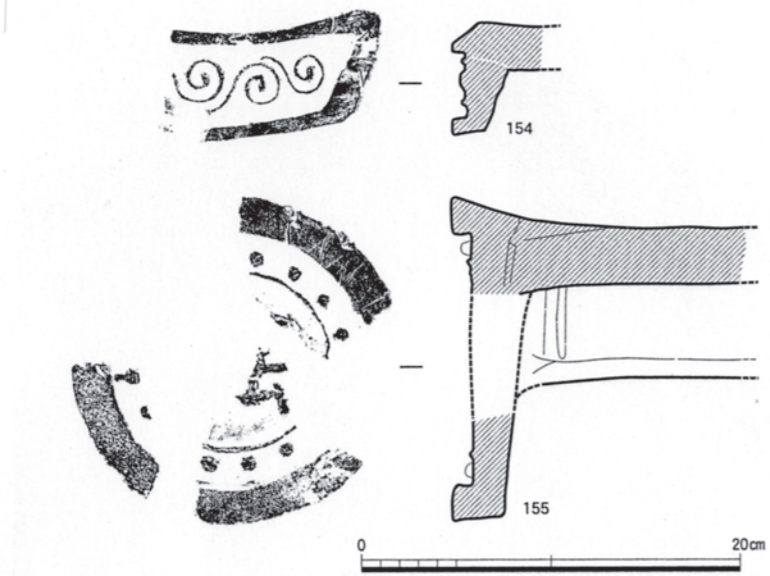


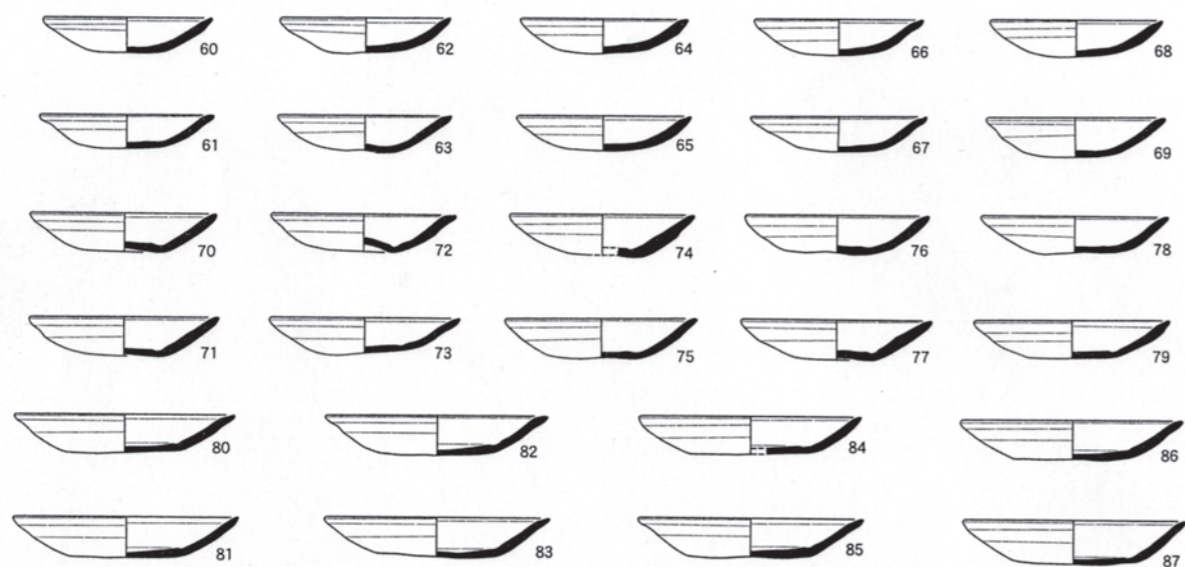
図7 遺構変遷図

③の調査

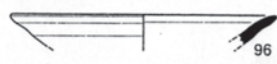
土坑26



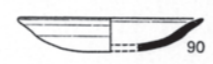
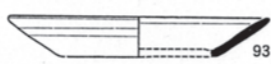
土坑6



土坑46



土坑26



土坑17

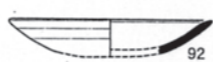


図8 出土遺物実測図

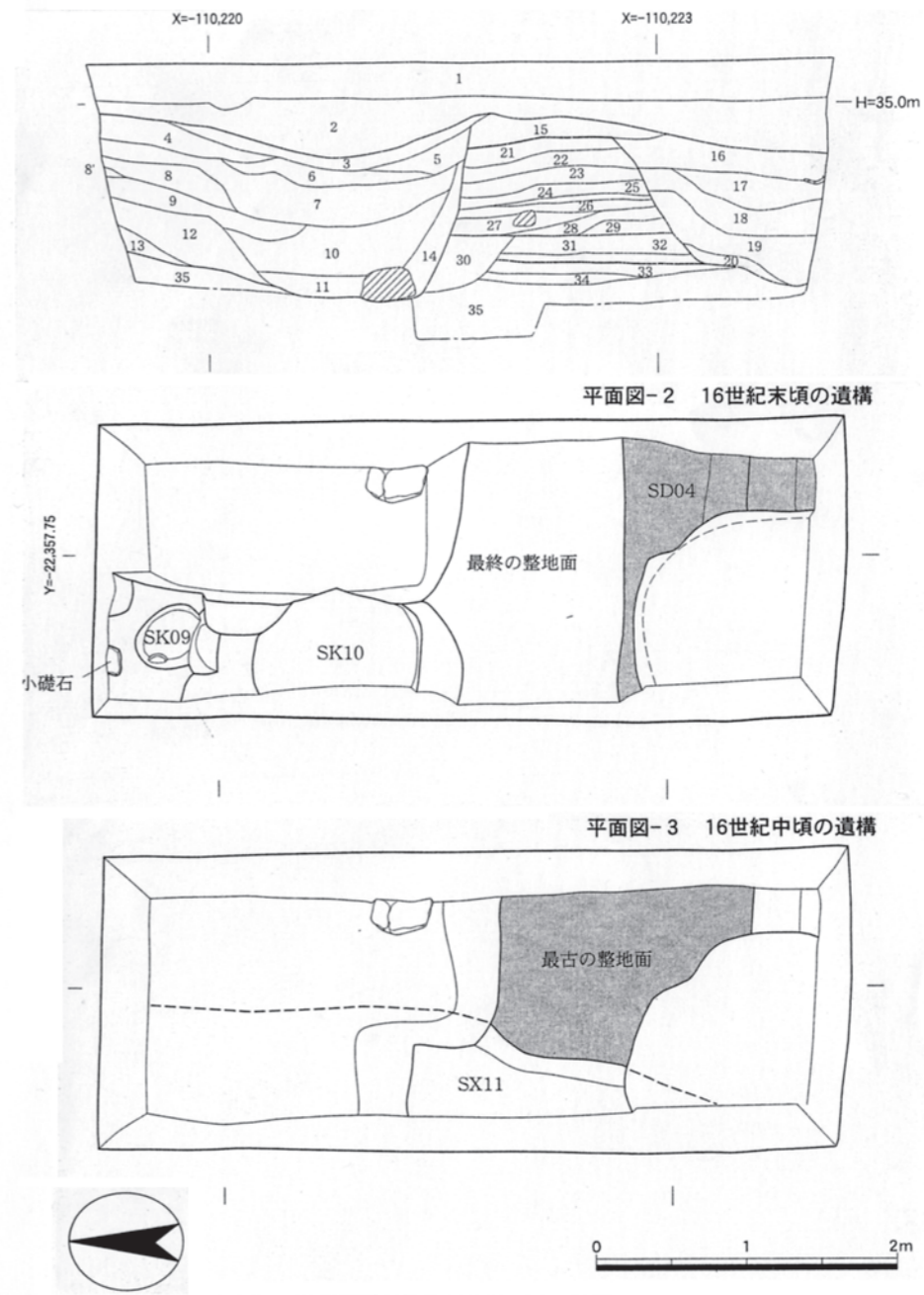


図9 遺構平面図・断面図

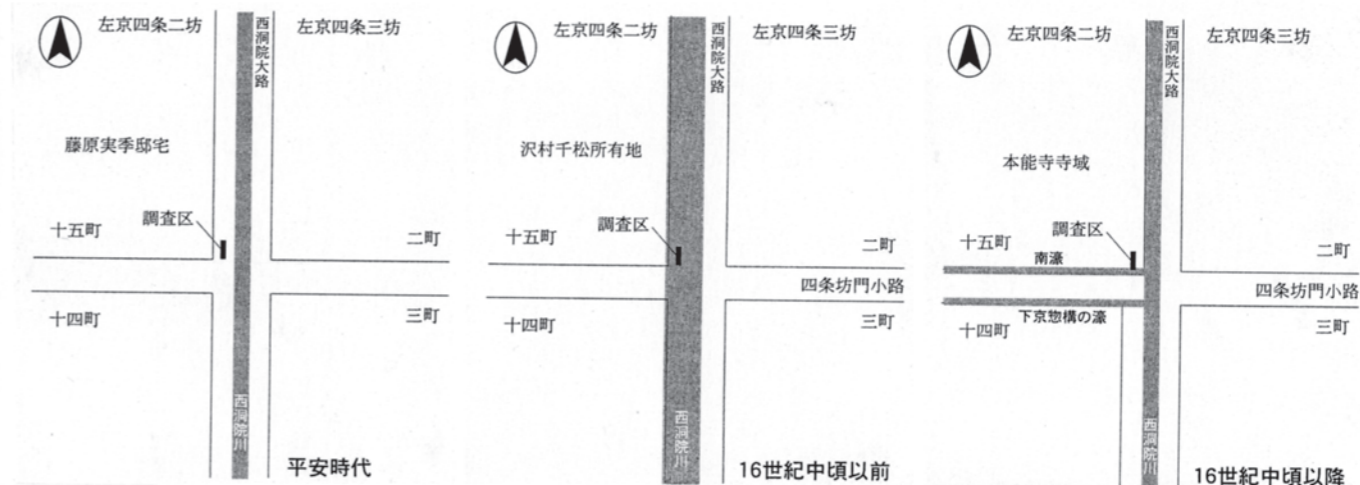


図10 周辺の区画変遷模式図

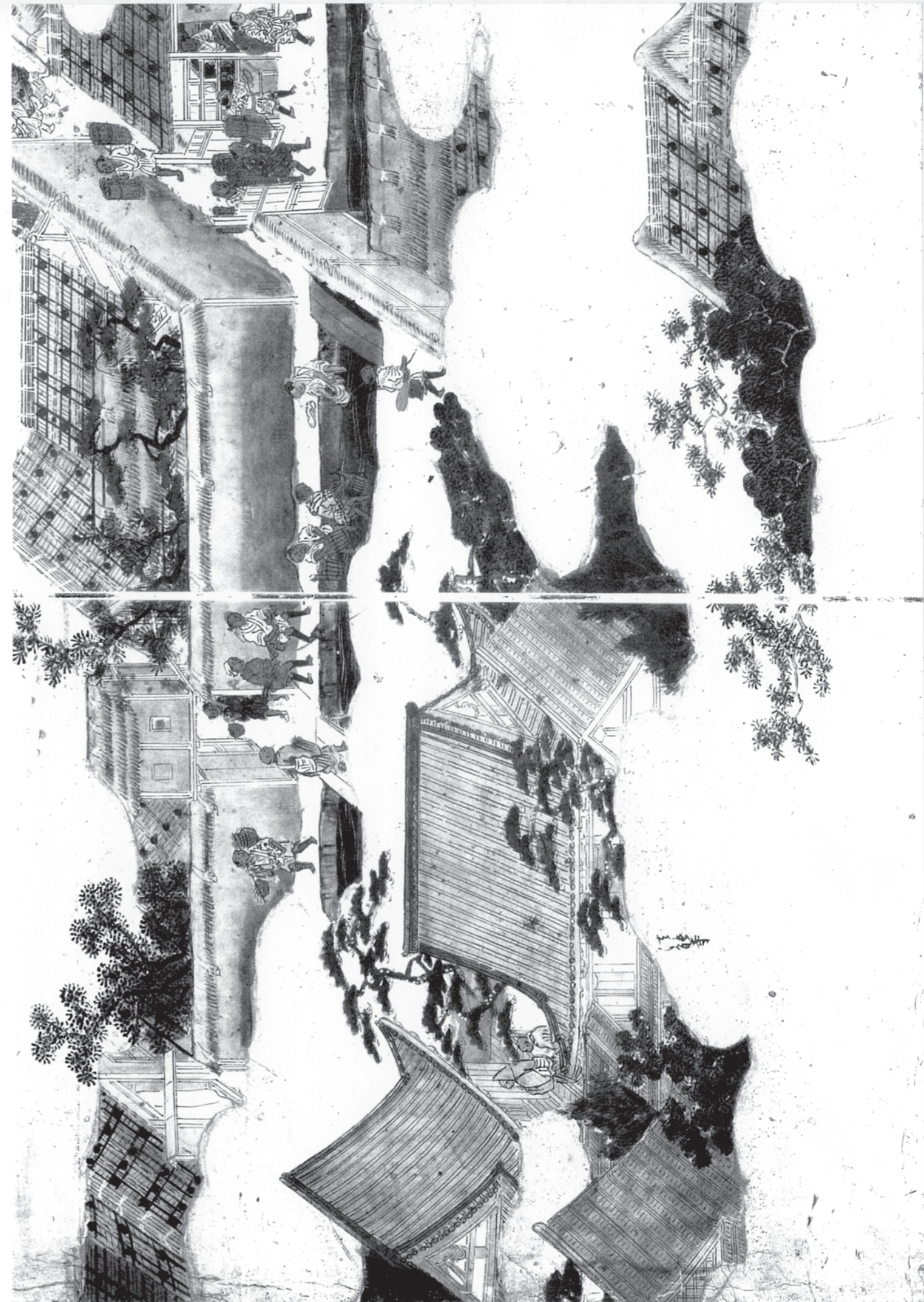
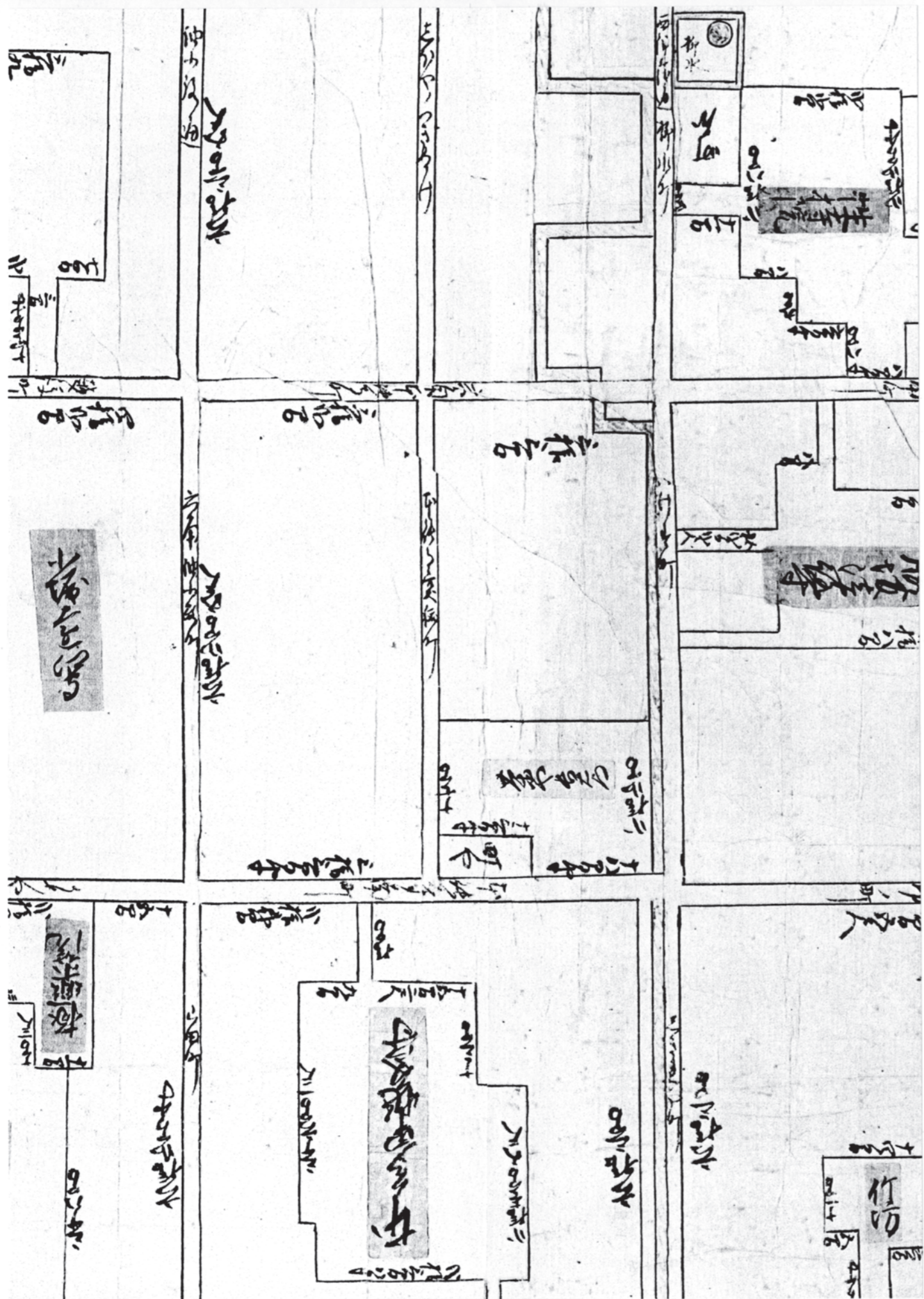


図11 本能寺跡周辺の状況(『洛中絵図』)

図12 本能寺周辺の状況(『洛中洛外図屏風』上杉家本)